



学校だより10月号



令和7年10月1日
市川市立福栄中学校

学校教育目標　自主・自立～ 活力と魅力あふれる学校を目指して～

2学期が始まって1か月が過ぎました。前半は真夏の気温が連日続き、いくつかの行事で時間を短縮するなどの対応をして実施しましたが、後半は、朝晩を中心にだいぶ涼しくなり、秋の訪れを感じられるようになりました。定期試験が先週終わり、これからは普段の学習に加え、さざなみ祭に向けての活動を行いながら、3年生は進路、2年生は職場体験、1年生は鎌倉校外学習の準備も進めていきます。忙しい日々が続きますが、季節の変わり目、健康に留意して活動していきましょう。ご家庭でのご指導もよろしくお願ひいたします。

校長面接

9月26日（金）より、3年生の校長面接が始まりました。複数の生徒と校長室で面と向かいあって面接を行います。実際の受験でも、ほぼ面接は必須となっていますが、その予行練習と考えるのでなく、過去と未来の自分に向き合い、自分の思いを言語化することが大切です。生徒からすると今までにない緊張の瞬間があると思いますが、何事も経験です。しっかりと乗り越えていきましょう。



生徒会役員選挙

9月9日（火）に生徒会役員選挙が実施されました。9名の生徒が立候補し、事前の選挙活動や選挙当日の立会演説会でこれからの福栄中について熱弁をふるいました。立候補した生徒の勇気と行動力は立派なものでした。

生徒会活動は学校教育目標の「自主・自立」を体現する最前線です。これからの新生徒会執行部に期待するとともに、現執行部は任期の残りの期間を次の執行部につなげられる活動をお願いします。



英語発表会



9月16日（火）、本ハ幡にある全日警ホールで市川市中学校英語発表会が行われました。福栄中からは、暗唱の部に1、3年生から1名ずつ、2学年からはスピーチの部に1名の代表者が登場しました。大きな会場での発表は、大変緊張するのですが、練習の成果をしっかりと出し、好成績を残すことができました。これからも英語力を養い、グローバルな人間に成長してください。

学校支援実践講座

9月16日（火）に、2学年の1組から4組を対象に「学校支援実践講座」が行われました。この事業は、学校を含めた地域全体でいじめを未然に防止することを目的に、市川市教育委員会が実施を希望した市内小中学校を対象に行っているものです。集団での生活体験や社会体験が少なくなってきた子どもたちに対して、積極的に他者と関わる機会の一つとして行われています。

学級の各班に1名の「地域支援者」（学級で合計6名）が入り、「架空事例（人間関係の中で起こるトラブル）」をもとに、地域支援者と生徒たちが自由に意見交換をしながら「人とのかかわり」について考えていくことで、「いじめの未然防止」につなげていく交流会です。

地域支援者の方たちは、上手に生徒から意見を引き出し、そして、子どもたちもしっかりと傾聴する大人に、いろいろな視点から自分の考えを出していました。最後に各班に入った地域支援者が、班の意見をクラス全員に発表しました。今回感じたことをこれから的生活に活かしてください。10月に5組から8組で実施します。



避難訓練



9月8日（月）の午後に避難訓練を実施しました。前週に行う予定でしたが、台風の影響により延期し、この日になりました。あらためて災害がいつ襲ってくるか分からぬことを実感しました。今回の訓練では、市川市南消防署の指導のもと、消火訓練も行いました。まだ真夏の天候でしたが、時間を短縮した中で生徒は一生懸命に取り組んでいました。

進路保護者会

9月30日（火）午後に、3年生保護者を対象とした第2回進路保護者会が開催されました。今回は、入試の手続きなどを中心に説明しました。年ごとに高校の入試システム等が変わっています。1、2年生の保護者の皆様も早めに情報を入手し、流れを知ることは安心につながります。進路についてご家庭で話題にしていただければと思います。

※暑さ対策のため、体操服・ジャージ登校を行ってきましたが、10月6日（月）より制服での登校といたします。事情等がありましたら、担任までお知らせください。ご協力をお願いいたします。